

メルマガ ～美人ショップ店員の連 絡先を訊き出す～

【主な内容】

【3】 件名

※△△

○○

どうも、TAKUMI です。

昨日、お渡ししたレポートは見ていただけましたか？

《URL》

これを見てもらうだけで、
いわゆる美人女性の心理や、多くの男性から言
い寄られている女性だからこそその
独自の視点の理解が得られるので、ぜひ見てみ
てくださいね。

狙っている女性についての理解が得られると、
アプローチすることへの恐怖心も、かなり軽減
されます。

なぜなら、
喜ばれるべくして、喜ばれるようになるから。

明るく、視界が開けた場所でなら
全力ダッシュできるように、

相手の女性の心理や視点についての理解が得ら
れていると、
この女性を落とすために、自分がなすべきこと
は何か？が
見えているので、果敢にアプローチすることができます。

《URL》

...

さて、今日は、
僕が女性にモテずにいた時代から、次第に女性
に
モテるようになっていったまでのお話を、あなた
にお話しようと思います。

これも、一つの事例として
あなたの参考にしていただければ、嬉しいです。

ただ、尺が長くなってしまっているので
今日と明日に分けて、お伝えします。

ですから、
今日は前編ということになりますね。

一通目としてお送りした
メールでも伝えていたように、

僕もかつては、
好みの美人女性からは、全く相手にされないよ
うな
人生を送っていました。

ドタイプ級にかわいい子がショップ店員にいた
時、
その子を目の前にすると、何かを注文するだけ

なのに、
変に緊張して、上手くメニューを言えなかった
経験が何回もあります。

にもかかわらず、

「あわよくば、、、」

なんて、下心的なことを考えているので、
おそらくそれが表情に出て、相手に伝わり、

「何、この人…？」

みたいな

表情に露骨に表れた
拒絶反応をされたこともありました。

…今、思い出しても、
苦痛の極みです（苦笑）。

あーゆーのって、
男として、マジで苦痛なんですよ。

モテない現実を
突きつけられたような感覚で。

しかし、今考えると、
あーなってしまった原因は、ハッキリ分かりま

す。

それは、相手は
キレイな子、可愛い子だからと、

「相手が上で、自分が下。」

みたいな、上下関係を、
僕自身が無意識の内に、
勝手に付けちゃってたからなんです。

女性の立場に立って考えてみれば
なぜ全く相手にされなかったのかが、よく分
かります。

女性が、わざわざ

「僕は、あなたよりもレベルが低いんですよ。」

と、自分で認めてしまっているような卑屈な男
を、

自分のパートナーとして選びますか？

っていう、単純な話です。

...

選ばないですね。

そんなことをすれば、
一瞬で舐められて、
恋愛対象の圏外に飛ばされて、試合終了です。

もう少し、
分かりやすい例を出しましょう。

見た目が美しく、スタイルの良い
モデルの女性がいたとします。

ここで、
モテる男性と
モテない「いい人止まり」のヘタレ男では、

彼女に対する対応が、全く異なります。

まず、モテないヘタレ男の対応について。

彼女がモデルだと明かした瞬間、

「え、モデルなの？どこのモデル？どんな雑誌
に出てるの？テレビには出るの??」

と、変に食いついちゃうことをします。

こうなると、せっかく仲良くなれるチャンスだったのに、

自分で「上下関係」を作ってしまったために、相手から全く相手にされない、

ということが起きるんですね。

一方、モテる男性の対応について。

「モデルなんだ～、スタイル良さそうだもんね。でも、モデルやってると腰痛になりやすいんでしょ？」

と、
モデルの話から、
腰痛の話へと、話題を変えています。

この二人の違い、
何か分かりますか？

それは、

「モデル」として見るのか？

「人間」として見るのか？

の違いです。

つまり、モテない「いい人止まり」のヘタレ男は、その女性のことを「モデル」として崇めてしまっているのです、

自分から、

「僕は、あなたとは釣り合わない男です」

と認めてしまっているようなものなんですね。つまり、セルフイメージ（=自分自身に対する自己評価）が低い。

だから女性は、

その男性には、全く魅力を感じない、

という、
極めてシンプルな話です。

一方、モテる男性は、

顔が美しかろうが、
スタイルが良かろうが、
モデルであろうが、

「同じ人間だね、一緒だね。」

といったものの見方をします。

「上下関係」ではなく、

「対等関係」を築きます。

女性に限らず、
人は、自分と同じレベルだと感じた相手とは
仲良くしたいと考えるのが自然なので、

彼女とは、仲良くなるべくして
仲良くなる、というわけです。

冷静に考えれば、分かります。

しかし、かつての僕は、
さっきのモテないヘタレ男がやらかした行動を
延々と取り続けていたんです。

なぜか？

モテない理由は
自分のアプローチ方法に問題があるから

と思い込んでいたから。

つまり、

話し方とか、
言い回しとか、
ボディランゲージとか、

そういった、表面的な部分にしか、
焦点が当たっていなかったのです。

いくら、上っ面でかっこいい男を演じようとし
ても、
セルフイメージが低ければ、
それは相手に伝わります。

特に女性は、
そういった直感力がとても優れていますからね。

だから、たとえどんな美女を目の前にしても、

「自分は、十分すぎるほど釣り合う優秀な雄な
んだ。」

といたた、
高いセルフイメージを持つことが、とても大切
になります。

だから、

「高いセルフイメージを持ちましょう！」

という結論に至るのですが、、

「そもそも、どうやったら、そんなふうに思える

よくなるの…？」

といった素朴な疑問があると思います。

安心してください。

その方法を、明日お伝えします。

僕自身、その方法を実行し、
高いセルフイメージを手に入れてからは、
面白いぐらい女性にモテるようになった

という実体験があります。

さらに、僕以外の多くの女性にモテる方々も
同じように高いセルフイメージを獲得している
方法なので、
かなり、再現性は高いと思います。

それを、明日、
お伝えしますね。

ぜひ、
楽しみにしていてください ^ ^

では、今日はこの辺で。

ここまで読んでいただき、感謝します。

TAKUMI